

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-3-1
医療機能の確保

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

健康推進課長 山崎一幸

電話番号

0852-22-5248

事務事業の名称	保険医療機関等指導事業	
目的	(1) 対象	保険診療等を受ける患者
	(2) 意図	保険医療機関等への保険診療及び請求についての指導をすることにより、適正な保険診療等を受けることができる。
事業概要	適正な保険診療の確保等を図るため、医療指導専門医、医療事務員を嘱託し、医療機関等に対して、レセプト等の内容確認及び面接方式による指導監査を行う。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 保険医療機関の個別指導予定件数に対する実施割合	目標値		95.0	95.0	95.0	95.0	%
		取組目標値						
	式・定義 指導実施数/指導予定数(年度当初計画)	実績値	100.0	95.0				
		達成率	-	100.0	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	2,474	4,910
うち一般財源(千円)	2,474	4,910

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- ・当該事業は、中四国厚生局島根事務所と共同で実施していることから、年度初めに当該1年間の指導体制、スケジュール、実施方法等について打合せを実施するなど、連携を強化しながら進めている。
- ・年度途中で新たに1件の指導案件追加、3件の指導日程延期があったが、関係者と調整、工夫をしながら実施。
- ・平成28年度についてはほぼ計画した実施機関について指導終了。
- ・指導未実施となった理由としては、医療機関の開設者(管理者)の疾病による延期中止や医療機関の廃止などがある。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

- ・中四国厚生局島根事務所との打ち合わせ実施等により連携を強化することにより、高い水準の達成率を維持できている。
- <参考>
- H24 66%
H25 86%
H26 98%
H27 100%
H28 95%(予定80、実績76)

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

- ・当該年度において計画的に指導を実施するため、年度始めに指導実施計画を立てながら実施しているが、年度途中で生じる事情により指導ができなくなる状況が発生する。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・指導が計画的に実施できなくなる事情として、年度途中で指導対象の医療機関が追加されることによる指導数の増加や、指導の対象となった医療機関の個別事情による指導日の変更、当該指導事業以外の関連行事等との関係などがある。

③原因を解消するための「課題」

- ・年度途中で生じる事情等に対して、関係者と共に迅速な対応をとることが必要である。
- ・また、保険医療機関の診療日の関係上、指導は基本的に休診日である木曜日に実施していることから、どうしても1年間に実施できる数が限られている。実施機関数をこなすためには、木曜日以外の曜日に実施することも検討が必要となる。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- ・計画的な実施に影響を与える要因への対応について、随時中四国厚生局島根事務所と打ち合わせ会議を開催するなど、さらに連携を強化し、計画的な実施を図る。
- ・木曜日以外での指導実施について、三師会(医師会、歯科医師会、薬剤師会)に対して協力を依頼する。